

# 国際卓越研究大学 体制強化計画 の認可を踏まえて

2025年1月16日

東北大学 総長

富永 悌二



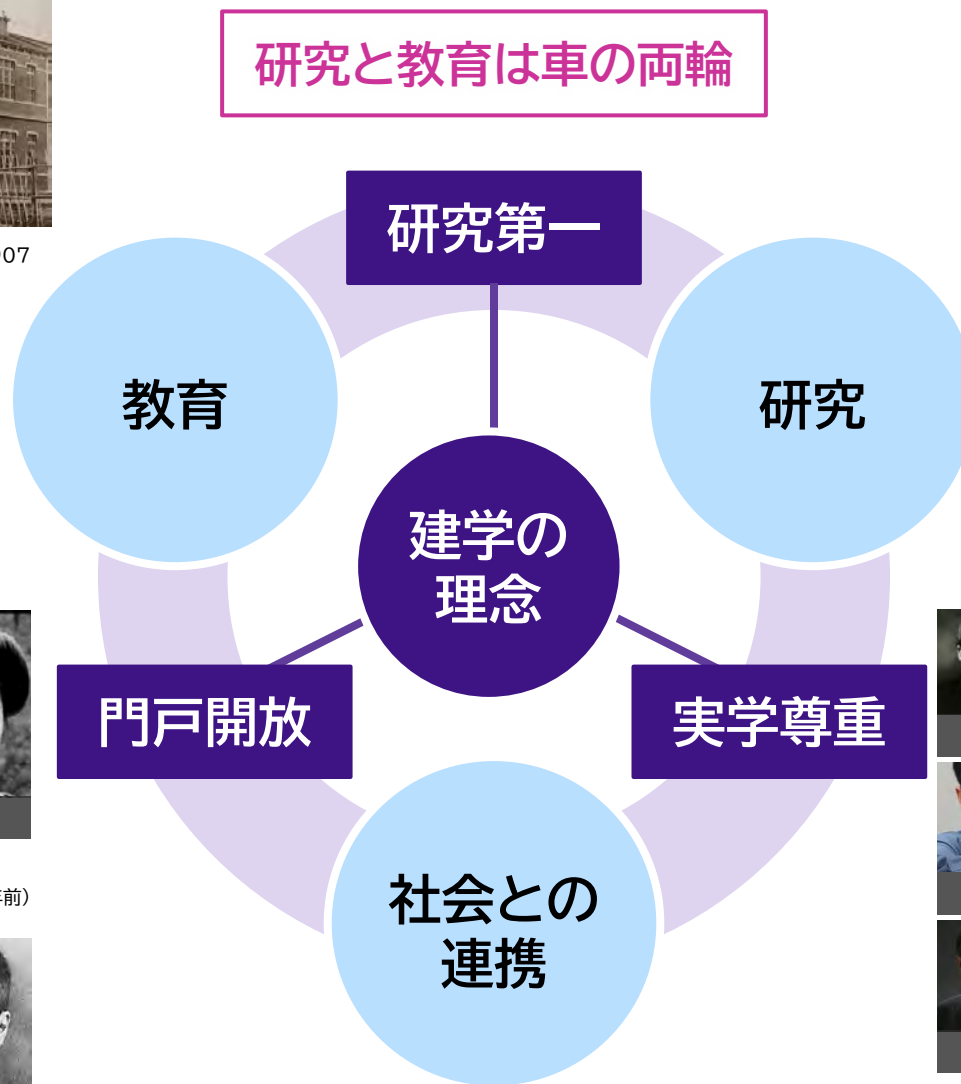


東北帝国大学の創立 三番目の帝国大学, 1907



「仙台は学術研究に最適な都市」  
アインシュタイン, 1922

研究と教育は車の両輪



多様性を力に



黒田 チカ 丹下 ウメ 牧田 らく

日本初の女子大学生の誕生  
「女子の帝大入学は重大事件」文部省, 1913(111年前)

社会価値を創造



アンテナ

半導体レーザー

質量分析技術

垂直磁気記録

フラッシュメモリ

コンパクト

「産業は学問の道場なり」 第6代総長 本多光太郎

民間および自治体等からの  
寄附を受けて創設・発展

東日本大震災からの復興へ貢献  
大学の社会的使命を構成員が強く自覚, 2011~

専門学校・師範学校・留学生へ開放

茅 誠司 松前 重義 魯迅

平和で公正な人類社会の実現に貢献  
建学の理念を礎として知・人材・社会価値を創出

## I . Commitment for **Impact**

未来を変革する社会価値の創造

- A) 国際的に卓越した研究エコシステム  
(学術的インパクト)  
Research Excellence
- B) 世界に変化をもたらす研究展開  
(社会的インパクト)  
Impactful Research and Innovation

## 研究第一

卓越性の追求

## II . Commitment for **Talent**

多彩な才能を開花させ未来を拓く

- A) 世界の研究者を惹きつける研究環境  
Campus for Aspiring Minds
- B) 世界に挑戦する学びの創造  
Gateway to New Venture

3つのコミットメント  
に基づく  
システム変革

## 実学尊重

社会価値の創造

先入観にとらわれない大胆な変革

## III . Commitment for **Change**

変革と挑戦を加速するガバナンス

- A) 全方位の国際化  
Full-Scale Global Readiness
- B) 機動的で責任ある経営とガバナンス  
Responsive and Responsible Governance

## 門戸開放

多様性と開放性

規制緩和等と連動したシステム改革

新たな知識経営体として機能拡張し、社会・世界への波及を拡大



## Commitments(公約)

### I. Commitment for Impact 未来を変革する社会価値の創造

東北大学は、世界的に卓越した研究成果をもとに社会価値の創造を先導する開かれたプラットフォームである。我々は、東日本大震災からの復興への貢献を通じ、多様なステークホルダーとともに、社会的使命を共有し、その自覚を強固なものとした。東北大学は、研究の卓越性と多様性を力として、固定観念にとらわれずに挑戦を続け、未来を変革する社会価値の創造を行う。

### II. Commitment for Talent 多彩な才能を開花させ未来を拓く

東北大学は、すべての教職員、学生・卒業生を中核とした本学コミュニティメンバーの未来価値の向上に対して継続的・重点的に投資し行動する。東北大学は、開放性と多様性を追求し、様々な社会的・文化的背景をもった多彩な才能を受け入れ、その個性を尊重するとともに、一人ひとりの成長と自己実現を促す魅力ある環境を作り上げ、活力ある未来社会を担う人材の育成に貢献する。

### III. Commitment for Change 変革と挑戦を加速するガバナンス

東北大学は、卓越性と成長をとともに追求する新たな知識経営体へと進化する。東北大学は、グローバル社会の一員として行動するため、それにふさわしい組織体制を構築するとともに、ここに記載し約束したすべての事項を実現可能とする実効性の高い大学ガバナンスを確立する。

## Goals(目標)と重点KPIs

#### A Research Excellence 国際的に卓越した研究エコシステム(学術的インパクト)

- 論文数
- Top10%論文数
- Top10%論文割合
- 若手研究者Top10%論文数
- 若手研究者Top10%論文割合

#### B Impactful Research & Innovation 世界に変化をもたらす研究展開(社会的インパクト)

- 民間企業等からの研究資金等受入額
- 産学共創拠点設置件数
- 大学発スタートアップ数
- 知的財産権等収入
- 産学共著論文数

#### A Campus for Aspiring Minds 世界の研究者を惹きつける研究環境

- 外国人研究者比率
- 女性研究者比率
- PI研究ユニット数
- PI対象教員とスタッフの比率
- 国際対応力のあるスタッフ比率

#### B Gateway to New Venture 世界に挑戦する学びの創造

- 留学生比率
- 博士課程学生の修了時までの国際経験割合
- 博士課程学生への平均経済支援額
- 博士課程学生数
- 博士号取得者数

#### A Full-Scale Global Readiness 全方位の国際化

- 外国人研究者比率
- 国際対応力のあるスタッフ比率
- 留学生比率
- 博士課程学生の修了時までの国際経験割合
- 執行部の外国人比率

#### B Responsive & Responsible Governance 機動的で責任ある経営とガバナンス

- 自己収入比率
- 事業規模
- 独自基金造成状況
- 法人戦略財源の規模
- 執行部の外国人比率

## Strategies(戦略)

- I-A-1 骨太の研究戦略に基づく卓越性の追求
- I-A-2 独自の三階層研究力強化パッケージ
- I-A-3 活力ある新たな研究体制

- I-B-1 世界を動かす知識行動プラットフォーム
- I-B-2 投資を呼び込むSTIプラットフォーム
- I-B-3 イノベーションを加速する共創機能強化

- II-A-1 魅力ある研究者キャリアパスと処遇
- II-A-2 経営スタッフの高度化と役割の拡大
- II-A-3 世界水準の挑戦を支える多様性キャンパス

- II-B-1 大学院から広がるキャリアマネジメント
- II-B-2 国際性・開放性を基軸とする大学院変革
- II-B-3 研究大学にふさわしい学部変革

- III-A-1 包括的国際化の推進
- III-A-2 頭脳循環のためのグローバルリンクージ
- III-A-3 世界と共創する国際拠点形成

- III-B-1 事業成長の新潮流に挑戦する経営
- III-B-2 知識経営体のためのガバナンス進化
- III-B-3 活力を高め成長を促す組織マネジメント
- III-B-4 多彩な才能の活躍を支える協働システム

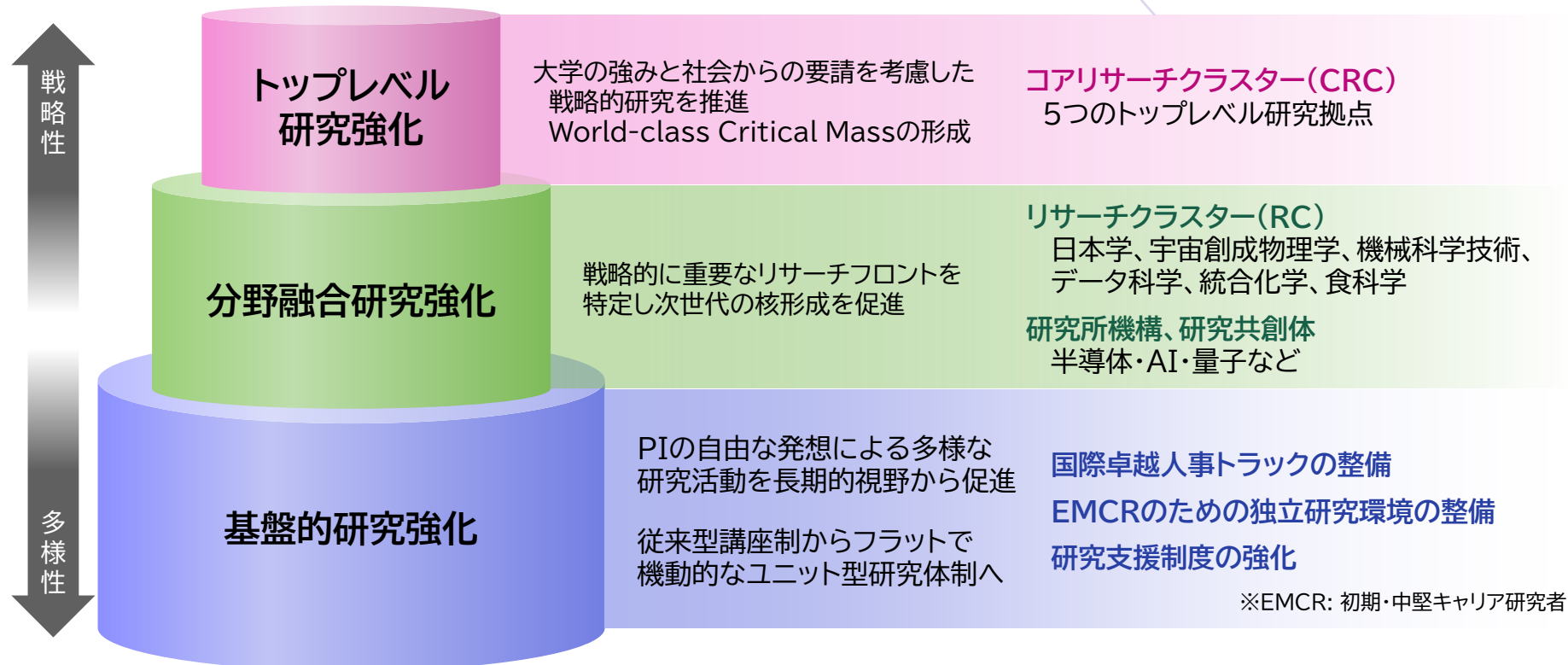
# I Commitment for Impact 未来を変革する社会価値の創造

**A Research Excellence**  
国際的に卓越した研究エコシステム(学術的インパクト)

**B Impactful Research & Innovation**  
世界に変化をもたらす研究展開(社会的インパクト)



## 三階層の研究力強化パッケージ



ミッションに応じて多様なアクターが協働する課題解決の場を整備

## 材料科学



ナノテラス(新たなPPP事業モデル)

ものづくり・環境・エネルギー・食品・農業・医療等への横断的波及

## スピントロニクス



半導体テクノロジー共創体

半導体産業競争力の強化  
グリーンな未来への貢献

## 災害科学



グローバルアジェンダへ

災害科学国際研究所

総合知に基づく地球規模課題の解決  
レジリエントな社会の創造

## ライフサイエンス



東北メディカル・メガバンク

データ駆動による  
未来型医療・ヘルスケアの開拓

## 人文社会科学



29大学  
支倉リーグ

統合日本学

AI共生社会

新しい日本学研究の展開  
国際価値共創

科学技術イノベーション

持続可能社会

人類のウェルビーイング

知・人材・資金の好循環を実現する

世界に開かれた社会価値創造プラットフォームとしての大学へ



## 都市部の全キャンパスをイノベーションの場として創造

- 東北大学キャンパス:市街中心部330万㎡の共創空間
- 土地売却収入を含む自己財源(約260億円)により、新キャンパス整備にかかる全ての費用を拠出
- 仙台市と連携し、2015年に地下鉄東西線が開業



半導体テクノロジー共創体  
国内最大の半導体R&Dプラットフォーム



東北メディカルメガバンク機構  
日本最大の一般住民バイオバンク(15万人)

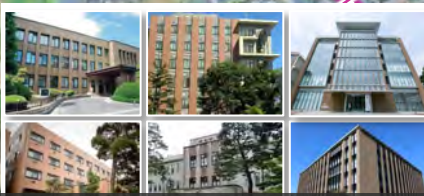


東北大学病院  
80万人の臨床データ

500m

サイエンスパーク  
4万㎡

3GeV高輝度放射光施設 ナノテラス  
世界でも類のないコアリジョン型整備方式



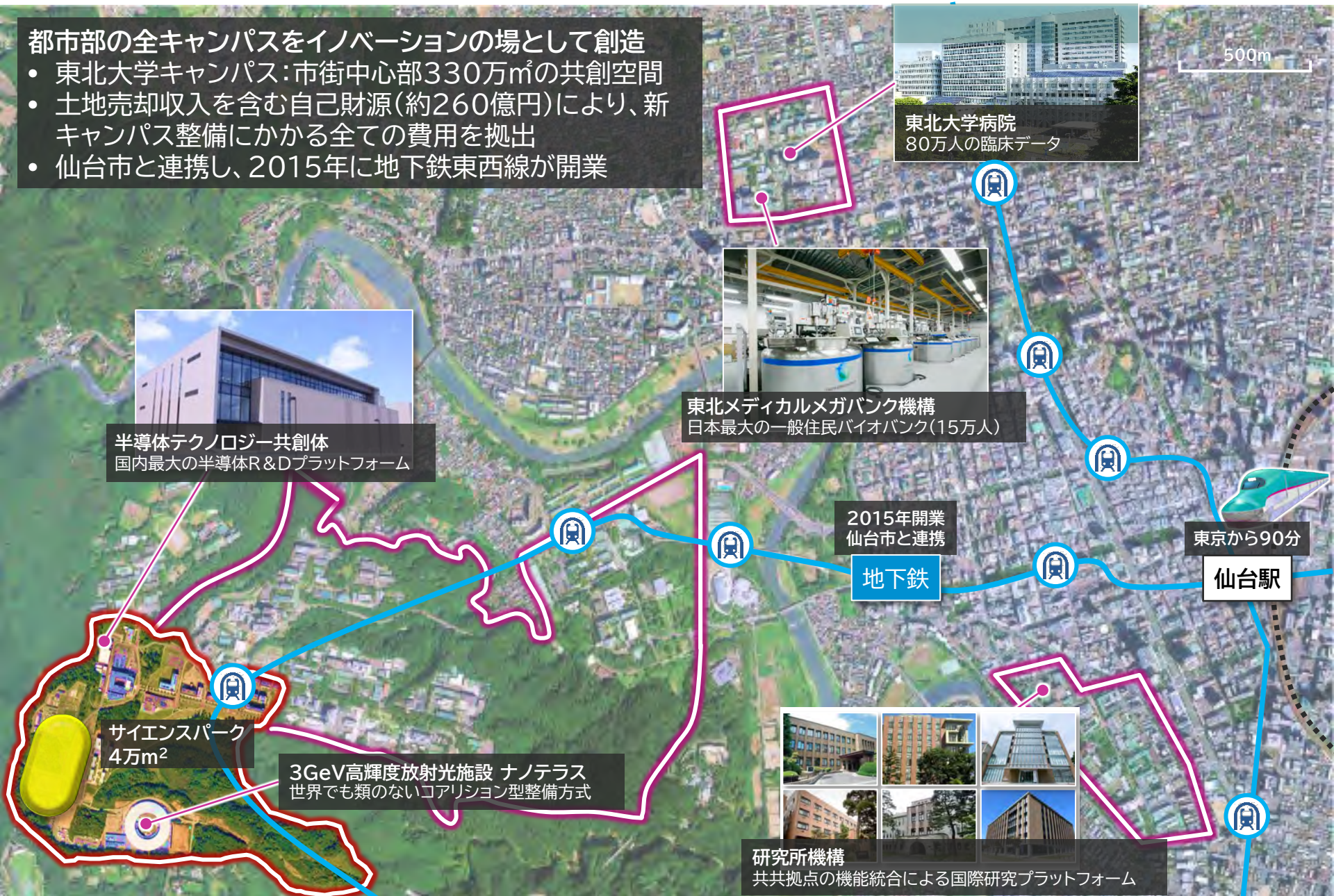
研究所機構  
共創拠点の機能統合による国際研究プラットフォーム

2015年開業  
仙台市と連携

地下鉄

東京から90分

仙台駅





## 本学独自のサイエンスパーク事業を展開

- 多彩なアクターが参画し、社会価値を生み出すイノベーションエコシステムを創造
- 国家的に重要な戦略技術領域の研究ハブを形成(半導体、AI、バイオ、量子、マテリアル等)

## 世界最先端フラグシップファシリティを戦略的に整備

- DX連携を通して比類ないスーパーファシリティネットワークを構築(民間投資も活用)

## 企業のR&D拠点をキャンパスに設置

- 共創研究所およびその発展型により、企業との大型産学連携を一気に拡大



スパコン「AObA-1.5」  
ベクトル型としては世界一の性能

ペタバイト級  
ストレージ

### 3GeV高輝度放射光施設 ナノテラス

- ナノスケール現象を可視化する巨大な顕微鏡
- 建設段階から民間投資を呼び込む世界でも類のない整備方式
- 出資意向は企業・大学・研究機関等約150件

国際放射光イノベーション・スマート研究棟

青葉山ユニバース

2027年竣工

サイエンスパーク4万m<sup>2</sup>

### 新たな整備手法・運営手法に挑戦

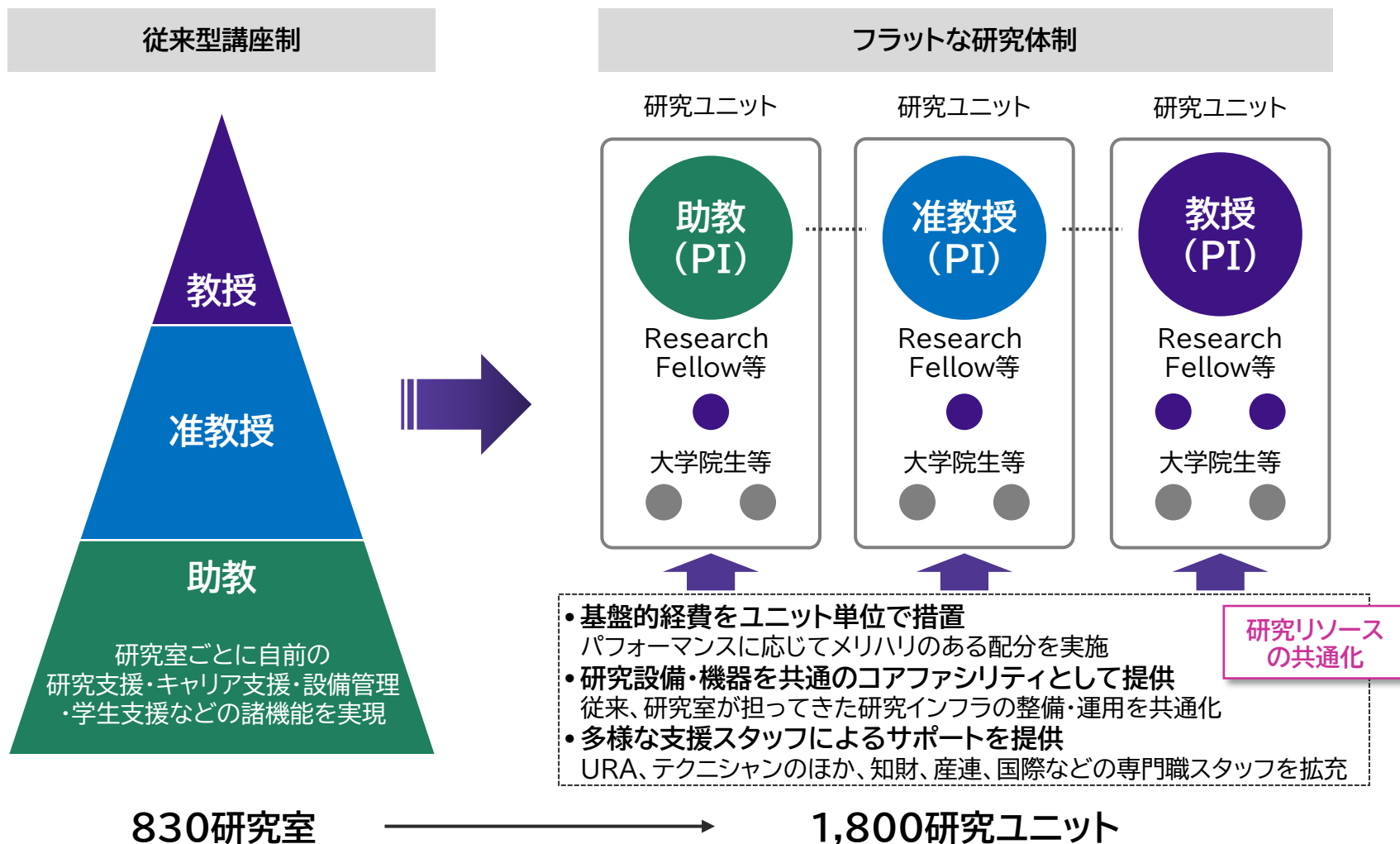
- 大学債等によるサイエンスパーク整備
- 国立大学初の民間金融機関との共同出資会社による事業展開 ※ 東北大学共創イニシアティブ(株)

## **II** **Commitment for Talent** 多彩な才能を開花させ未来を拓く

**A** **Campus for Aspiring Minds**  
世界の研究者を惹きつける研究環境

**B** **Gateway to New Venture**  
世界に挑戦する学びの創造

- 優秀な研究者(約1,800名)が独立した研究ユニット主宰者(PI)として活動できるフラットで機動的な研究体制を制度化
- テニュアトラックを全学的に展開、初期・中堅キャリア研究者(EMCR)の独立を促進



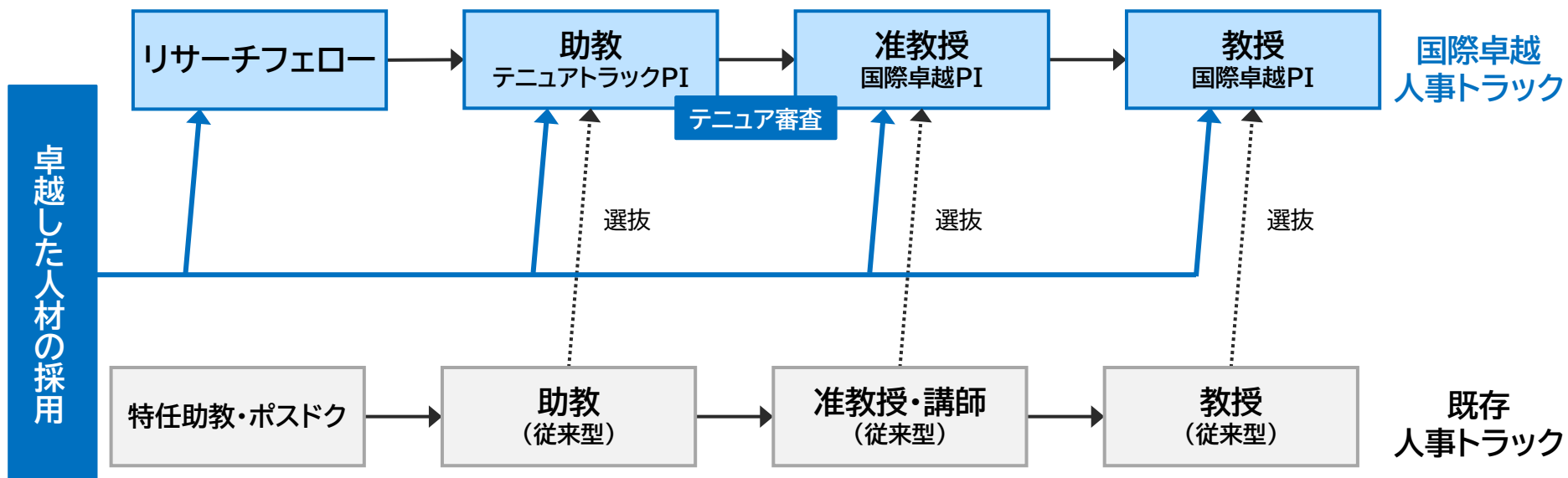


## ● 国際卓越人事トラックを全学的に整備

- ✓ 卓越したPI(研究主宰者)に対して国際競争力ある雇用条件や研究環境等を提供
- ✓ 初期・中堅キャリア研究者(EMCR)もPIとして早期に独立し研究ユニットを指揮して野心的な研究に挑戦できるテニュアトラック制度を運用
- ✓ 研究人材の多様化を加速して、構成員のマインドセットの変革を促進

## ● 既存人事トラック含めて一貫性ある研究者人事マネジメントを確立

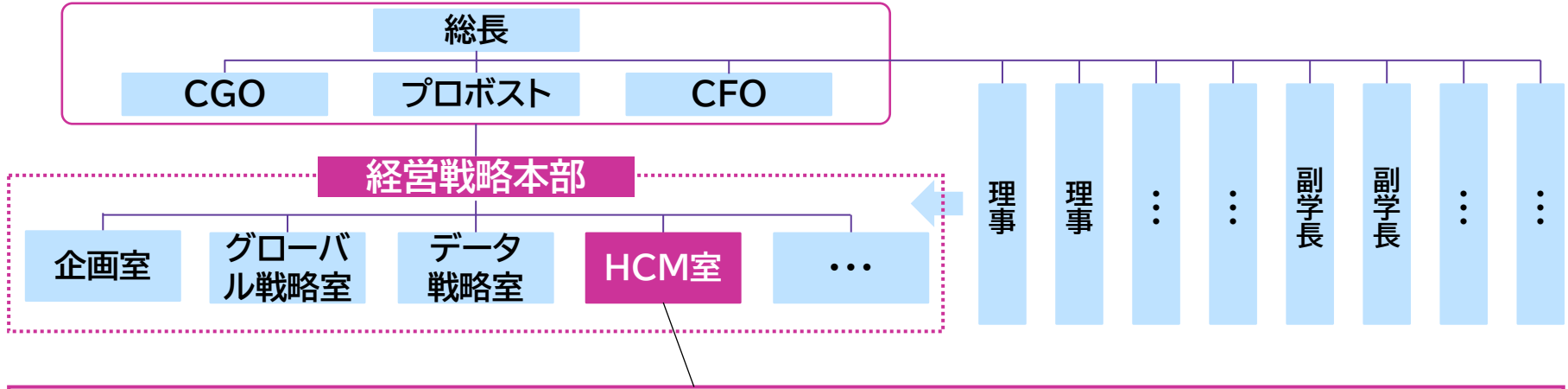
- ✓ 評価と連動したメリハリある処遇やインセンティブ等を導入
- ✓ HCM(Human Capital Management)室が包括的な支援を提供



**課題認識:** 大学にとって、研究者および研究支援人材は、最も重要な人的資本であるにもかかわらず、法人としての戦略性をもったマネジメントが不足

- 研究室ごとのアドホックな管理が中心
- 特に若手において課題

## Strategic Leadership Team (SLT)



## HCM (Human Capital Management) 室

室長: プロボスト 副理事7名、専従職員4名、兼務職員19名の計30名体制

- 研究人材マネジメントのための専門部署を新設 ← これまで研究者の人事部門は存在しなかった
- 国際卓越人事トラックを創設、国際水準の処遇やテニユア基準、評価等を整備、人事の卓越性を追求
- 研究時間(FTE)を確保するために専門職スタッフを拡充、専門職スタッフの人事改革も推進
- すでに2024年10月より活動開始、全学の研究力強化に向けた新たな研究者人事を統括(これまでに6部局の人事計画の審査・承認を完了、現在、19部局と人事計画を協議中)

研究者人材部門

経営スタッフ人材部門

共通企画部門

## 若手研究者に独立研究環境を提供する 学際科学フロンティア研究所 (FRIS)

若手**50**名が世界トップレベルの学際研究に挑戦

- 分野を限定しない国際公募  
(競争率10倍以上)
- 独立した研究環境(若手PI)
- テニュアトラック制度
- 年間最大250万円の支援
- 国際頭脳循環、共用設備

FWCI  
1.51

※2017~2022年

TOP10%  
論文割合  
13.8%

※2017~2022年



## 若手研究者の活躍が際立つ大学

文科大臣表彰  
若手科学者賞

85名  
(全国2位)

※2016~2024年度  
受賞件数

大学フェロー  
シップ創設事業

採択120件  
(全国1位)

※博士後期課程学生  
※2021年度実績

創発的  
研究支援事業

採択74件  
(全国3位)

※2020~2023年度  
採択件数

日本学術  
振興会賞

9件  
(全国2位)

※2021~2023年度  
受賞件数

日本学術  
振興会育志賞

5名  
(全国2位)

※2021~2023年度  
受賞件数



## 学際科学フロンティア研究所(FRIS)における先行事例 コアファシリティ「分野横断型研究環境FRIS-CoRE」について

- 現在、化学系、生命科学系、工学系の3つのコアファシリティが稼働中
- 独立研究環境における助教の研究活動を支え、大きな効果を発揮

## コアファシリティ統括センター(CFC)を司令塔として全学展開へ

- 各キャンパスにCFC全学共通機器センターを設置、上記先行モデルを全学展開
- 研究者とともに課題解決にあたる研究支援人材(コアファシリティスタッフ)を配置し、新たに着任した研究者に対して速やかに研究が開始できる環境を提供

## 分野横断型研究環境FRIS-CoRE



## 研究者・教職員のための各種支援プログラムを展開

	支援内容	対象者
研究支援要員	研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助 (上限200万円/年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 出産・育児・介護等を行う教員・特別研究員(PD)・技術職員(男女)</li> <li>• 国の審議会委員等の要職に就く女性教員・技術職員</li> </ul>
ベビーシッター利用料等補助	業務と育児の両立に必要なベビーシッター利用料等の補助	育児を行う教職員、ポスドク、博士課程学生など (性別問わず)
スタートアップ研究費	新規採用の女性教員に初年度:最大100万円/年の研究費を支援	新規採用の女性教員(助教以上)
ネクストステップ研究費	女性教員に新規の研究課題の遂行や研究成果の公開に必要な研究費を支援(上限50万円/年)	女性教員(准教授、講師、助教、助手)
子の出張帯同費用等の支出	研究者の「研究」と「育児」の両立支援策として、子を出張に帯同させる際の①子の往復の交通費、②子の宿泊費、③託児費用について研究費からの支出が可能 (財源:運営費または外部資金の研究費)	すべての子育て中の研究者

## 国立大学最大規模の事業所内保育施設(3つの学内保育園 定員258名)





トップクラスのフィジシャン・サイエンティストを生み出すインスティテュート



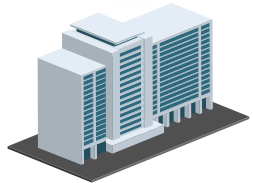
研究支援

- 独立研究環境
- 研究のレベルアップ
- 競争的資金獲得



実用化支援

- 知財マネジメント
- 臨床開発・事業開発
- スタートアップ



外部研究機関  
(国内・海外)

- 所長のトップマネジメントによる研究特区として運営
- 選抜された若手臨床研究医に独立研究環境を提供(6年間)
- 斬新なアイデアに基づく挑戦を推奨
- 研究・事業化に関する卓越したメンタリングを提供
- 研究・臨床・事業化等への多様なキャリア開発を支援

学内他組織

- 国際卓越人事トラック
- 通常人事トラック

学際科学フロンティア  
研究所ほか  
多様な分野のPI研究者  
等との交流・連携

臨床現場ニーズに基づく研究展開

- 許可病床数:1160床
- 臨床教員数:540名
- 80万人の臨床データ
- 各診療科を通して臨床現場へのアクセスを提供
- 実験装置・データ基盤などのコアファンティ機能を提供
- 臨床研究・治験への切れ目のない開発支援を提供(CRIETO)

東北大学病院





- 大学債等の自己財源を活用しライフサイエンスラボ棟を新営(2027年竣工)
- SiRIUS若手臨床研究医のための独立研究環境を整備
- 医薬品・医療機器・ヘルスケア領域における研究開発から事業化、スタートアップ創出、人材育成までを推進する機能を集積し、イノベーションの創出を加速



## 本学の実績



### アドミッション機構

全ての入学者選抜を統括  
教員を入試業務から解放

- 総合型選抜へ段階移行  
(現在AO入試30%超)
- 海外を含め、戦略的な学生  
生リクルートの展開

## 高等大学院 ～ 大学院を統括

### 国際性・開放性を基軸とする大学院変革

- 全大学院の定員、学生配置、学位授与等を一元管理
- 国際共同大学院(現在10プログラム)などの横断型学位プログラムを全面展開
- 海外大学等での国際経験を必須化(8%→100%)

### 博士課程学生を拡大

- 給与支給など経済支援を大幅に拡充(180→300万円)、研究者として処遇
- 修士から国際的視野で将来を見通せる一貫プログラム(12,000人)

博士(留学生)	修士(留学生)	25年後
6,000人(40%)	6,000人(40%)	↑
2,700人(30%)	4,000人(17%)	↑

## ゲートウェイカレッジ ～ 徹底した国際共修環境

### 研究大学にふさわしい学部変革

- 既存学部から入学定員を確保し8,000人規模で展開(国家資格関係を除く)
  - 留学生2,000名と国内学生6,000名の国際共修環境を提供
  - ワールドクラスカレッジやトップスクールへの留学等を必須化(1～2年次)
  - 分野転換教育に基づきLate Specializationを実現
  - 強固な専門基盤と広い視野を養う専門教育
- } (3～4年次)

学部学生(留学生)	25年後
10,000人(20%)	↑
(2%)	↑





# 博士課程後期学生の 包括的な経済支援パッケージ

～ 東北大学はドクターの学生を応援します！～

- 東北大学の博士後期課程学生約2,800名  
➡ 1人当たりの平均経済支援額 年180万円
- 生活費相当額以上の受給率:54%(2023年度)  
➡ 政府目標(30%)を大きく上回る

※ 第6期科学技術・イノベーション基本計画の目標値(2025年度):30%

## 主な支援財源

- 本学独自の支援(学位プログラム、グローバル萩奨学金)
- 大学フェロースhip創設事業、次世代研究者挑戦的研究プログラム、授業料免除制度、各研究科からの支援(TA・RA雇用)、日本学術振興会特別研究員、日本学生支援機構(奨学金返還免除制度)、各種民間等奨学金など



- 学術の進展や社会ニーズの変化に柔軟かつ機動的に対応できる大学院改革
- 卓越した研究者(PI)と意欲ある大学院生を結ぶ配属システムの一元化
- 大学院生を増員し社会の発展を先導する高度人材を多様なセクターへ輩出

## 高等大学院

各研究科の教育機能を束ねるアンブレラ組織として大学院全体を統括

### 定員配分

大学院全体で柔軟な定員管理、戦略的な定員配分を差配

### 学生配属

戦略的なリソース配分により学生配属を決定

### PIの研究科への配置

卓越した研究者(PI)を研究科へ戦略的に配置

### 教育プログラム

教育プログラムの企画・運営と学位授与の管理

### 奨学金等配分

戦略的・実効的な奨学金等配分(平均支援額:25年目300万円)

### 学生支援

留学支援、キャリア形成支援・各種研修などの実施

### 既設のディシプリン横断型学位プログラム(25年後に50プログラムに拡大)

	文学	教育学	法学	経済学	理学	医学系	歯学	薬学	工学	農学	国際文化	情報科学	生命科学	環境科学	医工学
スピントロニクス					●				●						
環境・地球科学					●	●			●					●	
データ科学				●	●	●			●			●	●		
宇宙創成物理学					●				●						
生命科学(脳科学)						●							●		
機械科学技術									●			●		●	●
日本学	●	●	●	●							●			●	●
材料科学					●				●					●	●
災害科学・安全学						●			●	●	●			●	
統合化学					●			●	●				●	●	
マルチディメンジョン物質工学	●				●			●	●			●		●	
未来型医療創造	●	●		●	●	●	●	●	●			●			●
人工知能エレクトロニクス	●			●	●			●	●			●			●
変動地球共生学	●			●	●	●			●			●		●	
グリーン×デジタル				●	●				●			●		●	



東北大学発スタートアップ 199社  
ユニコーン 1社



アントレプレナーシップ育成プログラム  
年間 2,328名 ※2023年度受講者



東北大学ビジネスインキュベーションプログラム  
Seed Funding 107件(総額10億円)



東北・新潟22機関対象  
Seed Funding 30件(総額4.4億円)



東北大学ベンチャーパートナーズ(株)  
第1号ファンド 96.8億円 26社投資  
第2号ファンド 78億円 19社投資



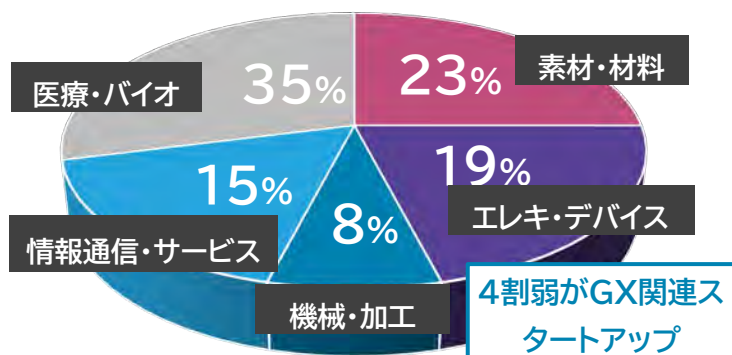
直近IPO実績 ispace社など 6件  
M&A実績 2件

## 全国トップクラスの創出数



## 東北大学ベンチャーパートナーズ(株)

- 1号ファンド  
2015年8月組成 96.8億円:26社投資



- 2号ファンド  
2020年10月組成 78億円:19社投資

東北地方で登記されている企業数 17社

## 国内未上場スタートアップ

上位20社のうち1社が東北大学発

- ▶ クリーンプラネット  
新水素エネルギー実用化研究  
想定時価総額8位(ユニコーン) 出典: STARTUPDB  
(2023.1.18時点)

## 最近のIPO・M&A実績例

### IPO実績6件

- ▶ 2020年12月28日東証マザーズ上場  
「クリングルファーマ株式会社」
- ▶ 2021年9月24日東証マザーズ上場  
「株式会社レナサイエンス」
- ▶ 2021年12月24日東証マザーズ上場  
「サスメド株式会社」
- ▶ 2022年11月22日東証グロース上場  
「株式会社ティムス」
- ▶ 2023年4月12日東証グロース上場  
「株式会社ispace」
- ▶ 2023年8月1日米NASDAQ上場  
「ピクシーダストテクノロジーズ株式会社」

### M&A実績の例

- ▶ 2020年11月16日  
「株式会社フォトニックラティス」
- ▶ 2023年1月31日  
「株式会社スーパーナノデザイン」



# III Commitment for Change 変革と挑戦を加速するガバナンス

**A Full-Scale Global Readiness**  
全方位の国際化

**B Responsive and Responsible Governance**  
機動的で責任ある経営とガバナンス

CGO(包括的国際化担当役員)を司令塔として全方位の国際化を推進  
国際対応力を最大限に高め、よりグローバル志向に行動する組織へと変革

## ミッション1 戦略的グローバルリンケージ

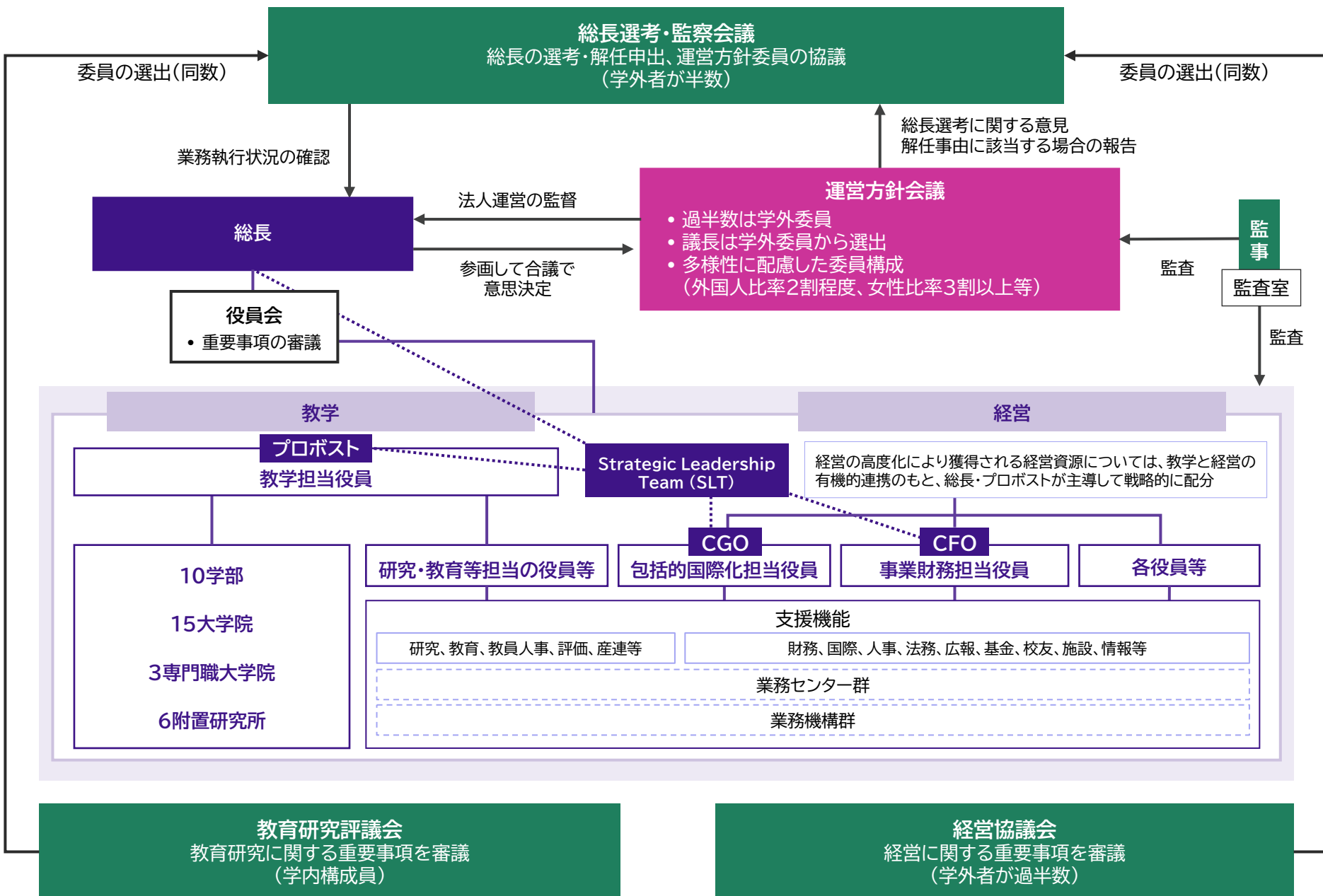


- 海外の有力大学、研究機関、政府、重要なステークホルダー、同窓生コミュニティ等との戦略的リレーション構築

## ミッション2 大学組織のトランスフォーム



- 大学業務全体の国際対応化の推進
- 国際対応力のあるスタッフの大幅拡充
- 外国籍スタッフの雇用推進
- 海外研鑽を含む能力開発への支援
- 海外人材受け入れに関する行政との連携







**東 哲郎**  
Rapidus株式会社 取締役会長  
最先端半導体技術センター  
理事長



**David PRICE,**  
Former UCL Vice-Provost  
(Research, Innovation,  
and Global Engagement)



**尾崎 久仁子**  
元国際刑事裁判所裁判官  
中央大学法学部 特任教授



**帯野 久美子**  
株式会社インターアクト・ジャパン  
代表取締役



**境田 正樹**  
TMI総合法律事務所

## CGO予定者



**Marie Pierre FAVRE,**  
Senior Advisor / Vice-President  
delegate for International  
Development of INSA Group

## 学内メンバー



**富永 悌二**  
東北大学総長



**青木 孝文**  
東北大学理事・副学長  
(企画戦略総括担当)・プロボ  
スト・CDO



**宮田 康弘**  
東北大学理事  
(事業財務戦略担当)・CFO・CIO

## 最高デジタル責任者(CDO)が全方位のDXを推進

距離・時間・国・組織・文化・価値観などの壁を越えて世界と繋がる

ビジネスモデルの変革、新サービスの創出  
研究生産性の革新、ウェルビーイングの向上

### インクルーシブな教育環境の創造

- オンライン学位
- マイクロクレデンシャル
- アナリティクス
- 国際共修

### デジタル空間を駆使した共創の展開

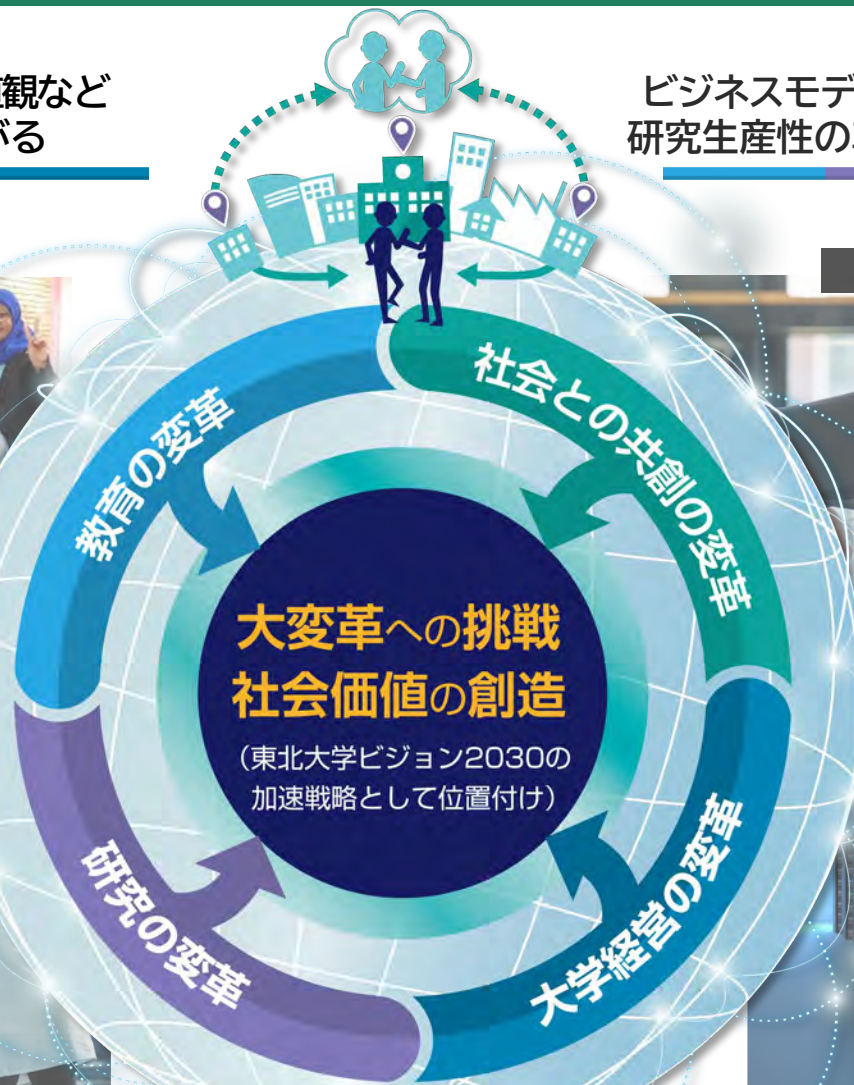
- AI共生社会
- ビジネス革新
- リスキリング
- 国際価値共創

### データ駆動型研究とオープンサイエンスの推進

- 研究データ戦略
- 研究生産性革新
- AIサイエンティスト
- オンライン共用

### 業務のデジタル変革の推進

- 経営戦略データベース
- EBPM
- 働き方改革
- 大学間連携DX





## 仙台市×東北大学 スマートフロンティア協議会

- スマートシティとして、仙台市と東北大学と参画事業者が連携し、データ連携を前提とした先端的なサービスの開発、規制改革の促進をすることで、多くのジャンルでスマートシティのフロンティア(最先端)を目指して2023年10月に発足

仙台市のスマートシティ化の鍵となる4つの要素



## 仙台市×東北大学 国際化共同推進センター

- 仙台市と東北大学は、本学の国際卓越研究大学認定候補を契機として、世界から優秀な人材を受入れるために更なる連携を強化
- 外国人受入支援における連携強化の一環として、「東北大学×仙台市国際化共同推進センター」を新設(2024年7月)
- 2024年10月、青葉区役所に外国人国外転入特設窓口を開設。秋に東北大学に入学する留学生を主とした約380名が窓口に来訪



## 仙台市×東北大学 防災環境都市づくり

- 2015年3月国連主催の「第3回国連防災世界会議」を仙台で開催。2030年までの世界の防災の取組み指針「仙台防災枠組」を採択
- 2023年5月、仙台市と東北大学災害科学国際研究所が連携し、「仙台防災枠組」の中間評価を国連ハイレベル会合にて実施(自治体初)
- 2024年10月、「仙台防災枠組」を推進する取組が高く評価され、国連防災機関から「MCR2030レジリエンス・ハブ」に認定(国内初)



## SENDAI STARTUP CAMPUS構想

- 2023年6月に東北大学・仙台市・宮城県・NTTグループにより連携協定を締結
- 仙台都市圏にアクセラレーション等を行う拠点を整備し、仙台の街全体を国際的なスタートアップ・キャンパスとして形成





本計画は、世界と伍して成長するための  
**大学のシステム改革**に主眼がある

東北大学は**変革の結節点**となり  
日本の大学改革を先導する

## I . Commitment for **Impact**

「研究第一」「実学尊重」の建学理念、さらには東日本大震災での課題解決の経験に立脚し、研究の卓越性を妥協なく追求することを通して社会価値を創出する。

## II . Commitment for **Talent**

既成概念を打ち破り日本で初めて女子学生を受け入れた「門戸開放」の精神を踏襲し、世界から多彩な才能を惹きつけ、その力を開花させ、人類の未来に貢献する。

## III . Commitment for **Change**

変化を恐れず大胆に挑戦する決意をもって、経営およびガバナンスの高度化を図るとともに、将来を見据えて不断に見直し、ステークホルダーとの対話を通して継続的に改革する。

# 発見は、 未知ノ奥 にあり。

## Explore Your Unknown

諦めない探求心だけが辿り着けるところ、  
既知の境界線を突破した先にあるところ、  
世界の先端に切り拓かれたところ、  
見たこともない地平が広がるところ、  
それが“未知ノ奥”、わたしたちのいるところ。  
あたらしい出会いと発見にあふれ  
つぎの時代の創造がはじまる場所。



東北大学